

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	28	学校名	静岡県立富士宮北高等学校	校長名	小谷 和之
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 スクールミッション

「**覇気・信念・明朗**」の校訓のもと地域で活躍する多くの人材を輩出してきた伝統校として、「**文武両道**」の精神で勉学と部活動に全力で取り組む教育活動や、実践的な商業教育、富士山の恵みを活かした探究学習、地域と連携した国際理解教育などを通して、地域社会の発展に貢献できる**グローバルリーダーの育成**を目指す。

2 スクールポリシー

目指す最高目標【社会に愛される18歳】

グラデュエーション・ポリシー (卒業までに身につける力)	カリキュラム・ポリシー (目指す目標、実践する教育課程)	アドミッション・ポリシー (入学時に求める生徒像)
<ul style="list-style-type: none"> ●育成する5つの力（宮北BASE） <ul style="list-style-type: none"> ・心を律する力 ・自ら計画し、実行する力 ・協働を築く力 ・知性を磨く力 ・未来を創る力 ●「覇気・信念・明朗」の精神を持ち、5つの力を備えた地域社会の発展に貢献できる知性、技能や実践力（を身につける） ●社会課題に対して、自ら考え行動し、責任をもつ力（高い生徒エージェンシー）（を身につける） ●探究的な学びを主体的に実践でき、自らのキャリアのために生涯にわたって学び続ける姿勢（を身につける） 	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学び続ける意欲と、校訓「覇気・信念・明朗」を体現できる人柄と、高校生として学ぶべき内容及び探究的な学びを身につけた能力を育成するため、教育課程内外全てにおいて、教育活動を展開する。地域社会を支える「人」の育成に貢献し、グローバルリーダー、エッセンシャルワーカーの資質を身につけることを目指すとともに、よりよい社会を創造できる力を育む。 <p>（具現化の3本の柱、8つの項目にて示す）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の夢・希望の実現に向かって努力できる生徒 ●明るく健康で、何事にもチャレンジし、未来を切り拓こうとする意欲を持つ生徒 ●地域社会や国際的な問題に関心があり、主体的に探究的な学びに取り組みたい生徒 ●普通科は、高みを目指し、自ら学ぶ力と自ら望む学力を身につけたい生徒 ●商業科は、商業に関する専門性と、社会の即戦力となることのできる力を身につけたい生徒

3 スクール・ポリシー具現化の柱

▽各教科・科目や総合的な探究の時間においては、学習指導要領の目標を意識し、教科横断、個々のキャリア支援の視点を考え、一人一台端末を効果的に活用（調べ学習やグループでのPBL等）し、タンタンタイム（総探）等を使い、対話、協働、発表の機会を積極的に設ける。

▽将来、一人ひとり自主的な行動ができるようにするため、特別活動等を使い、生徒主体の学校行事、環境美化、ボランティア活動、部活動等を推進するとともに、富士・富士宮を中心に地域と連携した教育活動を行う。

▽学校生活全般において、多くの経験を積める機会を提供し、それらを通して多様性を理解し、共生・共育を分校とともに推進しながら社会的包摂の理念を身につけ、社会の一員として当たり前のことを当たり前に行える人間性の育成を図れるよう生徒に寄り添った支援をする。

（宮北BASEを意識して、以下のア～クを行う）

ア 規律・礼節、規範・帰属意識を醸成し、主体的で健全な生活態度を育成する。

イ 探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。

ウ 学んだ知識や技能を実際に活用するとともに、地域と連携した実践的商業教育を推進する。

エ 自己理解・目的意識を高める系統的な指導を通して、個々のキャリアを意識した進路実現を支援する。

オ 多様な活動への参加を通して、自己有用感、豊かな人間性、共生・共育意識及び社会的資質・能力を育成する。

カ 富士宮4学校間教育連携、外部諸機関、地域との連携を推進し、それらの積極的な広報活動を通して、開かれた学校づくりを推進する。

キ 教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員の資質向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する

ク 教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む。

4 本年度の取組（重点目標はゴシックで記載）

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	主な担当部署
ア	規律・礼節、規範・帰属意識を醸成し、主体的で健全な生活態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な頭髪・服装指導 ・挨拶・声掛けの励行 ・集会や行事を通じた規範・帰属意識の醸成 ・交通安全の啓発(ヘルメット着用の推進) ・校則等の意識化による主体的行動の育成 ・情報モラル教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「服装・頭髪指導がしっかりしている」「マナーがよい」保護者評価が各90%以上 ・登校指導5日、昼巡視20日を通して挨拶、声掛けの励行 ・交通事故10件以内、交通安全教室4月に実施 ・マイコーデウィークの実施2回以上 ・ケイタイマナー教室1回実施、授業、LHR等で生徒自らが情報モラルを考える時間の実施 	(生徒課)
		<ul style="list-style-type: none"> ・校内連携、生徒情報の共有 ・教育相談の機能性の向上 ・特別支援教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職員は、悩みなどの相談(いじめ含む)にのってくれる」生徒評価90%以上 ・特別支援が必要な生徒への適切な配慮と支援の実施、生徒の実態把握シートの充実 	(保健課)
		<ul style="list-style-type: none"> ・校訓の精神を理解・体現 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事(式典等)を通じた校訓・校歌の理解・浸透 	(地域総務課)
イ	探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びにより、個々の学力が伸ばせる授業の推進 ・積極的な対話と、自らの考えを表現させる場面の創出 ・家庭学習時間の充実 ・教育課程の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かりやすく学力が付く授業」87.5%以上 ・「自らの考えを表現できる生徒」60%以上 ・一日平均普通科90分以上、商業科60分以上 ・令和9年度実施に向け、新たな教育課程(裁量6時間制+)の導入検討と、積極的公表 ・アジャストタイム等、新たな日課の導入と検証、「自主的な自己調整ができる生徒」の育成 	(教務課)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ICT・生成AIを活用した分かりやすい授業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT・生成AIを活用した授業の実施率80%以上 ・生成AIを活用した授業の推進 	(教務課) (進路DX課)
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に対応した主体的対話的で深い学びの実現、観点別評価の実施 ・授業公開/見学の励行と、授業参観の創意工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的対話的で深い学びの実現に結び付く授業改善に取り組んでいる」職員評価90%以上 ・新課程における適切な観点別評価の実施100% ・授業公開週間を年2回以上実施 ・生徒による授業改善のためのアンケート実施 	(教務課)
		<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間」における探究プロセスの構築と実施 ・外部団体と連携、積極的な発信 ・実践校の事例研究と職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間(タンタタイム)に主体的に取り組む、満足感を得られた生徒80%以上 ・個々の興味関心を活かした探究の実施と、外部への積極的な発信 	(教務課) (広報課)
ウ	学んだ知識や技能を実際に活用するとともに、地域と連携した実践的商業教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・対外的な商業活動への積極的参加・運営 ・課題研究の発表会の実施 ・系統的な検定/資格指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業科の全生徒が対外的な商業活動に参画する ・3年の課題研究発表会の実施 ・商業科2級以上取得95%以上、1級3種目以上取得20%以上 ・「授業等で実践的な取組ができた」と答える生徒80%以上 	(商業科)
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携・外部人材活用による商業的活動の実施 ・新たな商業科の魅力の発見 	<ul style="list-style-type: none"> ・年10回程度外部連携による商業活動を展開 ・商業科体験入学会、出前授業の実施し、中学生の満足度80%以上 ・地域と連携した実践的商業教育を推進 	
エ	自己理解・目的意識を高める系統的な指導を通して、個々のキャリアを意識した進路実現を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験合格のための実力の伸長 ・個別指導の機能向上・組織化 ・進路選択のための的確な進路体制の構築(就職指導体制、進学指導体制、学習指導体制の整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外模試を活用し、偏差値50以上が1・2年で20人以上、3年で10人以上 ・「北高は生徒一人一人に応じて、計画的な進路指導が行われている。」生徒肯定評価90%以上、保護者肯定評価80%以上 ・「進路決定先満足度」3年生肯定評価90%以上 	(進路DX課) (広報課)
		<ul style="list-style-type: none"> ・真摯に自らのあり方を考え、自己実現＝キャリアデザインに繋がる進路指導(進学・就職)を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らキャリアを考えるため、1年生は「自らの選択肢を広げる」機会学期1回以上。2年生は「自分の現在地」、3年生は「進路意識」を表現させる機会年1回以上 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい入試に対する積極的な情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育産業等との積極的な連携、保護者に対する説明会実施3回程度 	

オ	多様な活動への参加を通して、自己有用感、豊かな人間性、共生・共育意識及び社会的資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 充実した部活動による人間性の涵養 「一人一役」ボランティアの推進 社会貢献活動の参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> 「充実した部活動により人間性が高められた」と答える生徒 85%以上 ボランティア活動に参加 40%以上 生徒会を中心としたボランティアの参加4回以上 	(生徒課)
		読書活動の推進、学校図書館の充実	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用促進のための企画各学期1回程度 奨励図書を生徒公募、ビブリオバトル活動の継続 図書貸出全校で 1,000 冊以上 	(広報課)
		美化/清掃活動の推進	「学校は清掃や整頓がきちんと行われていてきれいである」職員評価 60%以上	(保健課)
		共生・共育の一層の充実	<ul style="list-style-type: none"> 分校との交流に満足する生徒 70%以上 「プロプロ」、「みやラン」の実施と検証 分校生徒とのプランターの植栽活動(年1回程度)等を通して、インクルーシブ教育環境整備を促進 	(保健課) (生徒課)
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒エージェンシーを高める創意工夫 自己肯定感・自己有用感の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会との「テーマ」ランチミーティングの実施を 1・2 学期 3 回程度 マイコーデウィークなどを活用し、校則の見直し等を通して、生徒が主体的や積極的に参画したと答える生徒の育成とその発信 	(生徒課) (広報課)
カ	富士宮 4 学校間教育連携、外部諸機関、地域との連携を推進し、それらの積極的な広報活動を通して開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 校内防災体制の点検・整備 地域防災組織との連携、地域防災参加の意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員向け校内研修2回以上 「防災訓練等で生徒の防災(地域防災を含む)に対する意識が高まっている」生徒評価 90%以上 	(地域総務課)
		<ul style="list-style-type: none"> 一日体験入学・学校公開等の改善、4校連携の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 一日体験入学アンケート、満足度 70%以上 魅力的な体験入学および公開授業の実施 	(教務課)
		<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会等の効果的実施 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な広報資料の作成と校内外の生徒の活躍情報の発信 中学校訪問の随時実施による志願者の確保 	(管理職) (広報課)
		<ul style="list-style-type: none"> 学校HP等の効果的運用 外郭団体と連携した生徒支援の計画・実施 4校連携を推進し、地域の活性化や学校魅力向上に資する 	<ul style="list-style-type: none"> 月 4 回以上のホームページの更新 インスタグラム等によるタイムリーな配信(「北高ニュース」をリアルタイムで配信する) P T A、学校後援会及び同窓会との連携強化 4 校連携による職員研修や中学生・保護者向け説明会の実施 	(地域総務課) (生徒課) (広報課)
キ	教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員の資質向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な校内研修の実施 実践事例に関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修参加 95%以上、満足度 80%以上 事例研究、グループ研修を年3回以上実施 県教委等の事業を活用し、全教職員で知見の共有化と新たな視点を導入した教育活動実施 	(教務課)
		<ul style="list-style-type: none"> 不祥事根絶への取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス委員会を年3回開催し、職場環境や教職員の勤務状況を把握して適切に対応 コンプライアンス通信を配布し注意喚起 	(管理職)
		<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策・熱中症対策を行い、安全な生活環境を維持 	<ul style="list-style-type: none"> 「感染症対策を行った」生徒 80%以上 感染症・熱中症の注意喚起を年3回以上実施 	(保健課)
		<ul style="list-style-type: none"> 適正な服務管理・事務処理 学校経営予算の効率的な執行 施設設備の適正な維持管理、適切な安全対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で信頼される学校として、予備監査、例月会計検査、会計・物品事務指導検査等において指摘事項がない。 施設管理の不備に起因する事故の発生がない。 富士宮 4 学校間教育連携を始めとした各種連携及び教育活動を推進できるよう、滞りない積極的な事務支援をする。 	(事務部)
ク	教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの推進 業務の精選 勤務時間の短縮を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスチェックの結果が県平均より良い 職員会議は協議事項の意見交換を主として、連絡事項は分かりやすい資料の配布で簡略化 業務のデータを活用した効率的な業務の実施、次の担当者のために業務のマニュアル化 定期テスト監督の平準化 	(管理職)